

「アジアの未来」出席報告

I. 2014年5月22日（木）第1日目

1. リー・シェンロン

2004年にシンガポール首相。



今年のテーマは、次の20年へのメッセージ。主役は中国、アメリカ、日本、そしてインドだろう。アメリカは、地域の安全保障の要。グローバルな警察官の重圧もある。新たな戦いには躊躇している。アメリカ経済も苦しんできた。金融危機からは回復はしたものの、まだ途上である。

民主党と共和党の深い溝もある。しかし、私は信じている。中国のGDPがアメリカを上回るかもしれないが、やはり一人当たりのGDPはそうではない。20年前のことを考えると、グーグルなどはなかったから、今後の企業は、今はまだ存在していないのかもわからない。アメリカは重大な利益をもたらすことになると思うが、2つの不確実な点がある。一つ目は、自信をもって実行できるかどうかということ。二つ目は、党派主義が行き過ぎて、政治的な停滞を招くことである。

中国の力や成長力は、地域の国々に影響を及ぼす。中国では、2番目、3番目の都市、例えば重慶のような都市が成長し、上海のようになるだろう。人民解放軍はステルスジェットやサイバー攻撃もできるようになるだろう。しかし、米軍にはまだ追いつかない。中国の4つの近代化のひとつが国防であった。

中国はこれから急速な高齢化を迎えることになる。3億人の高齢者を抱えるが、一人一人が豊かになるまでに高齢化を迎えてしまう。

中国の経済変革は、何億人もの人が都市に住み、変革を迎える。前例のないことである。経済だけであれば、世界銀行の管轄になるが、経済だけの問題ではない。

近隣の国々が独立を保てるのか、第2次大戦後のアメリカのように周辺国に受け入れられていくのか。

中国は国内で、習近平がチャレンジする。中国のリーダーは実践的である。危機であることを知っている。国内の荒廃、国営企業の危機など。

さて、日本であるが、日本は日米安保で安全を保つことになるだろう。日本の人口は、20年後、1000万人減ることになり、これは、シンガポールの2つ分である。

日本は、ひとつは移民、もうひとつは経済成長でこれを乗り切る。一つ目は日本では難しいであろう。二つ目は女性の労働などで、今、安倍首相が取り組んでいるが、時間がかかる。何度かの選挙を経て実現していくことになる。

20年後、日中戦争・太平洋戦争から100年となる。戦略的構造ではひとつのシナリオ。アジアの国が互いに平和に競争する。国際法を守って繁栄し、小国の発展も支える。すべてWINWINの関係。日米安保にかかっている。安定した協力で可能に。良いシナリオの下にASEANの大国同士が関与しあう場を持つ。

良くないシナリオもある。中国の規模が大きくなりすぎて、小国が中国に従わざるを得ない状況。ナショナリズムが台頭する。隣国に敵意を抱く。中国・韓国・日本。貿易戦争や通貨紛争が起きる。ASEANの国はどちらにつくのか、ということになってしまう。

オバマ、習近平は、摩擦はあっても、共通の利益を求め協力し合っていくだろう。しかし、中国の台頭が大きく立ちはだかる。

次の 20 年には、米中関係が非常に重要。次に重要なのはナショナリズム。歴史のしがらみを次の世代に引き継いでしまう。戦争を求める国はない。意図しないことで紛争は起こる。引火点は、海洋や船舶の衝突も人の死亡等あれば手におえない事態に発展する。

もうひとつのホットスポットが朝鮮半島である。一つは現状維持のシナリオ。もうひとつ半島の非核化に失敗したときは、可能性が出てくる。

この 20 年、アジアは様々な危機を乗り越えてきた。アジア経済危機、SARS、金融危機。アメリカがアジアを見離すとは思えない。

（日経記者との対談）

日； TPP をどうみているか？

リー； アメリカは選挙が近づくとそちらに注目になるので、各国はそれまでに何とかしたいと思っている。

日本は、乳製品、ポーク、米など、政治的な決断を迫られる。

日； センシティブな品目は除くのか？ すべてか？

リー； 日本の農家の平均年齢は、68 歳。20 年後に新しい畑を耕しているとは思えない。TPP がなくても変化はある。保護主義に依存してきた。安倍首相はさ 3 本の矢を打った。構造改革については何年もかかる。いずれ成果は出てくるという信念でやることが重要。

日； TPP は熱心になってきたと感じる。オバマは“尖閣は日米安保の範囲”と言ったが、この発言が中国をけん制したと思っている。

リー； （笑）それは、別々のことが一緒になってしまっていると思う。経済統合で互いに連携していく。TPP はスタートに過ぎない。中国、韓国も入るべきである。オバマは尖閣については慎重な姿勢である。コメントをしなかった。

日； TPP はアメリカが主導している。ポピュリズムが出てくる。急速な変革は反感を招く。

リー； 反対派の人々が押し返すのはどこでも同じ。アメリカは、歓迎され続けていると思う。日本は押しつけと考えずにすべき。

日； 安倍首相の集団的自衛権のことについてはどうお考えか？

リー； 安倍さんの目指していることは理解できる。東南アジアは日本と和解した。中韓はまだ決着できていない。

日； 政治のリーダーは何をするべき？

リー； 文化センターがシンガポールにある。日本製品や日本文化のプロモーションをしている。こういうことはいい。

（会場から）

Q1;AEC の役割は？ 米中日への。

A1;AEC 既に経済共同体はある。中国、インドとも協力していく。米中日が ASEAN を一つの単位として対処していくことに。

Q2;シンガポールの発展モデルとしてほかの国が習うことは？

A2;国の繁栄で人々がメリットを享受できるようにするところ。

Q3;エネルギーの側面では。ウクライナはロシアがエネルギーの特権を持つ。中国はベトナムに電力を供給している。

A3;エネルギーの大量供給が必要である。日本は、原子力が止まっている。LNG を大量に購入し続けている。アメリカにはシェールガスがあり、輸出も可能である。

Q4;原子力についてはどうか？

A4;ソリューションのひとつにするべき。温暖化にも影響する。安全は重要であるが。

Q5;シンガポールではどうか？

A5;国土が狭すぎてスペースがない。現実的でない。

Q6;日本が原子力を持つことについてどう考えるか？

A6;日本の技術は高い。車など、いろいろ。その技術で原子力の技術も。

Q7 ; インドネシアやマレーシアなど、近い隣国に投資を増やすべきではないか？

A7;隣国への投資は、政治的に歓迎され、利益を享受できなければならない。国を超える投資については。

Q8;マレーシアとの間に高速を作るということも？

A8;新幹線の計画もある。

A9;似たことが起きた。米ソの時。米は中国に。今は状況が違う。ロシアは超大国でない。ロシアは収益、中国はエネルギーを得ることになる。

2. ナジブ・ラザク

・2009 年 4 月 マレーシア首相

日本の経済は回復してきた。マレーシアはルック・イーストでやってきた。私の政権下でも同じように継続してい

く。第 2 段階でハイテクと熟練工の技術である。

1980 年代においてはアジアの世紀と言われたが、多くのオブザーバーにとっては先の話であった。人口の多い域は経済開発で世界の注目。東アジアに注目。20 年間でアジアが GDP の 40%といわれる。アジアの経済が注目を浴びる。孤立はない。アジア人の将来は持続可能な経済でいられるかによる。バブルが起きるのかどうかが大重要。

アジアの経済はと安全保障は 1 番目は経済統合。貿易統合。アジアの経済にとって統合は経済発展につながる。アジアは恒久的な経済統合をするべき。より多くの利益をもたらす。マレーシアは TPP の妥結を目指す。交渉進展していくと妥協する。

普通の人々にとっては、陰謀ではないかという懸念がある。人々の疑いを払うべきである。規制の対象をアジアの金融に。50%成長すると世界の 1 / 3 になる。新たな規制が必要になってくる。シャドウバンキングなど、より広い範囲で金融の監督を行う必要。より強い信用リスクを管理する。金融統治を行う。

大きな観点でみると、アジアの国の中には、人件費が上がり、国内需要を上げようといくことも。次の段階の発展になる。アジアが重要な役割を果たす。構造改革は時間がかかる。

2 番目は、格差の問題。構造的な不平等。システムそのものが不平等の時、深刻な格差を生む。医療・教育・健康 GDP が上がっているのに、それを感じられないとき。ラテンアメリカで格差が縮まっているのに、アジアでは広がっている。アジアは、より多様性のある発展、より平等なチャンスが必要。教育・医療・健康に投資をして、格差をなくさなければならない。資源を入れていくだけでなく、政治的な面も必要。

安全保障と安定性がベースに必要となる。気候変動も考えなければならない。アジアの軍事力は不安定でなく平和に。中国の（？）軍事力は、1988 年には少しであったが、2013 年には 187%増となった。自衛権を持つが、紛争の種にもなる。交渉が重要であり、よりよい外交関係、主権の平等が必要。



ナジブ・ラザク
マレーシア首相

紛争は、国際法で解決すべき。核不拡散に関し、東南アジア非核兵器〇〇条約や海賊行為に対しても防止の条約を決めた。たとえばマレーシアでは、地域紛争の解決に努力してきた。資源を求めようと緊張が起きたとき、私たち自身で新しい安全保障を作っていく。一つの超大国が力を持つ時代は終わろうとしている。最初に提案されてから 30 年が経ち、アジアの世紀になろうとしている。

(対談)

日； TPP はマレーシア国民も反対の声があると聞か？

ラザク； 自由貿易は必要。成長の見通しはある。TPP は、自由貿易プラスプラスだから難しい。国営企業の問題、知的財産所有権、など単に自由貿易だけでない。オバマは安倍首相と会談した。間もなく合意するだろう。

日； 夏までに合意？

ラ； 夏はいつのこと？ マレーシアでは年中夏です。(笑) タイムテーブルは作るべきでない。私は現実的。パリで、12 月までなんて無理だと言ってきた。

(会場から質問)

Q1; マレーシアから来ている。日本のビジネスに対してマレーシアはどんなものを提供できる？

A1; マレーシアは、はっきりとしたロードマップを持っている。今年の第 2 四半期 6.0% の高い成長。クアラルンプールとシンガポールの高速鉄道など。安倍首相も熱心だ。

3. ブー・ドク・ダム

・2013 年 11 月ベトナム副首相

IT, 教育、医療を担当。

アジアは 20 世紀後半以降、奇跡的な発展を遂げた。新たな課題もある。持続的は発展、地域の不均衡、格差、環境、国境を越えた紛争。政策の調整を行い、保護主義には戻ってはいけぬ。資源の効果的な活用。TPP, RCEP、ASEAN 投資、アジア諸国の経済統合にベトナムは積極的である。CAREC (中央アジア地域経済協力) も地域で進める。鉄道や運輸面でまだまだ欠ける点もある。



ブー・ドク・ダム
ベトナム副首相

3 つ目は、科学技術の発展と移転。研究開発に投資し、グローバルな生産を行う。個々のイノベーションを起こす。ベトナムにジニという農家があった。道路が建設されることになった。家に損傷を与えずに家を動かした。その後、いろいろなものを動かした。古い建物を動かしたいとき、彼に頼むようになる。3 年前に亡くなった。もうひとつ別の農家は、ヘリコプターを作りたい。ヘリコプターを運用する法律がなかったので、政府がヘリコプターを買い取って博物館に展示した。グリーンな技術には初期投資がいる。インターネットの普及で貧しい人も世界と触れ合うことができるようになった。サイバーの脅威には多国間で戦っていく。

4 つ目は、人材開発である。ベトナムの小さな村で最新のものづくりに参画する。職業訓練を行う。アジアは世界の人口の 60%。農家も多い。ベトナムではナマズを捕って生活している人もいる。経済連携によってその人々の生活が奪われる。

5 つ目は、天然資源の枯渇。メコン河流域の 1 / 5 が失われることもありうる。ベトナムも土地が低い。温室効果ガスの削減や天然資源の管理を行う。各国とも、相互依存するようになってきた。

東南アジアの海では、5 月の初めの中国、海軍と空軍器がベトナムの EEZ に近づいてきた。'74 以来、占拠してきた。ベトナムは強く平和を望む。あらゆる手を通して平和の交渉をしてきた。常に友情関係を持ってきた。合法的に主権を守る。平和と安定のために。ASEAN サミットの議長も、採択した。ベトナムの合法的立場を支

持ただいて感謝する。ベトナムの一部の地域で民間企業に被害も出ている。政府は起訴も行った。今では通常通りになっている。ベトナムと日本は、戦争を超えてパートナーになった。

東日本の震災の折、ベトナム中央部の少数民族のエリアから、10 k m以上も裸足で歩いて 2 ドルをもってきてくれたおばさんがいた。「日本がどこにあるのかわからないが、日本が作った学校があり、孫がそこで勉強している」と言った。

私自身、小さく貧しい村の出身。みんな国の法律を尊重し、慣習を重んじて生活している。しかし、時には、いさかいもある。その時には村を出ていく人もある。国同士は国際法を守らなければならない。ベトナムは平和のために最大限の努力をする。

(対談)

日；まずは中国のこと。ウルムチで爆発があった。お話で南シナ海のことが出た。多国間の協力は？

ドクダム；多くの国の支援に感謝する。国際法を守るべき。行動規範に発展させるべきである。南シナ海を通る貨物だけでない。

日；アメリカの役割は？

ドク；紛争解決のために参画してくれるなら。それ以外の目的であれば他の国も含めてノー。

日；日本の投資は？

ドク；投資は、日本が 1 番。ハイテクの投資がある。互いを信頼しあっている。投資だけでなく、ODA もある。

4. ボンセイ・ビソット

・カンボジア財務経済相次官

アジアは多様性のあるエリア。文化や人など。次の 10 年は、アジアが世界で最大の経済となる。長期的な繁栄のために、まずは、経済のリストラクチャリング、所得格差を減らす、ハード・ソフト両方のインフラに投資する、開かれた地域経済にする。次に、共通の戦略を効率を上げて実行する。地域の枠組みや、グローバルな対話、地域の協力のもとに行う。3 番目は、安全保障。特に大国間での。ASEAN は地域協力を作っていくのに非常によい。ASEAN + 1、+ 3 e t c. 紛争解決していく。2015 年の経済共同体、また、RCEP など。

この 20 年、カンボジアは安定してきた。2004 年～2013 年の gdp 成長率は 8%を超える。金融危機はあったが、乗り越えた。(貧富の差を表す指数？は、) 2004 年 53.2%、2013 年は 20.2%と小さくなった。ジニ係数は、2004 年 0.326、2013 年 0.282 社会の公平性が必要。2030 年までに所得の高い国になることを目指す。まず、人的スキルの向上、次に物流の効率化、更に、エネルギーセクター、3 番目に産業の多様化。組立、製造業等の生産性を上げる。4 番目に金融市場。5 番目に公共投資、ヘルスケアなど。6 番目がガバナンス、公共サービス。

カンボジアはアジアの発展に協力していく。日本の科学や知識、他国籍の企業のサポートを受ける。日本・メコンで協力の枠組みがある。ASEAN 共同体にとって日本のサポートは、ビジョン実現に重要である。これまで ODA

でカンボジアに援助してもらった。アジアの国々と運命を共にしている。安定で相互優位の関係を作っていく。各国が Win-Win の関係となるよう。

(対談)

日；アジア経済共同体 AEC が 2015 年に発足するが、カンボジアは準備ができている？

ビソット；地域主義を掲げている。機会も課題も含めて。ダメージもあるが、いずれ良い点も出てくる。AEC のゴールに対して各々の目標が各国にある。LOST と BENEFIT を提案していく。A E C では、義務が出てくる。85% 達成のところ、カンボジアは 87%達成している。

日；西沙初頭が緊張している。中国・ベトナム間。カンボジアは ASEAN として協力するのか？

じ；難しい質問。これだけ関係が進んでいけばグループとしての力は重要である。グループを強くすることは必要であるが、自国のみを犠牲にはできない。ある国の利害とグループとしての利害のバランスがいる。

日；ASEAN, ASEAN+3 は重要と思うが、CICA と呼ばれる中露が中心となったものに、カンボジアも入っているが？

じ；ソ連の後の会議である。カザフスタンも入っている。ASEAN+3 の枠組みと異なる。法的な拘束力は CICA はない。別のものである。カンボジアの国益にかなえばいい。

日；東アジアを新しい冷戦という人もいるが？

じ；そうは思わない。複雑で緊張感のある状態といえる。

日；フン・セン首相の特使として来られた。日本とどういう関係でいく？

じ；カンボジアは日本と強い協力関係でいく。日本は科学技術に優れる。日本の投資家や日本の国に投資にきてほしい。トップレベルの保証もほしい。

(会場)

Q1;研究所のもの。6月にイオンモールがオープンする。TBKという国営のテレビも始まっている。しかし、カンボジアは人口が多くない。投資家にとっての魅力はどこか？

A1;カンボジアの魅力の1点目は、経済開放。所得の日本本国への100%還元がOK。2点目は若い人的資源。スキルを上げようとしているところ。トレーニングを行っていく。オーナーシップを持ったままできる。ASEANが統合されていけば、自由に。他のASEANの国と比べて解放の途上である。

Q2;通貨についてどう思うか？

A2;アジアが最大のお経済圏になる。通貨面でもそうだろう。地域の経済力による。

5. マハティール・ビン・モハマド

・マレーシア元首相

(対談)

日；まずは東アジアのことについて。紛争が起きている。タイは混迷、日中、日韓、10年前と比べて安定とはいえないのではないか。マハティールさんはアメリカに対して否定的だが？これだけの混迷に対してどう思う？

マ；中東やヨーロッパに比べたら、それほどではない。ヨーロッパは金融や経済の問題も抱えている。中国は世界第2の経済大国になった。中国はアメリカが入ってくることに関心を感じているのではないかと。APECではアメリカが積極的に介入している。アメリカはアメリカ寄りの政権を望む。民主的な政権であっても、アメリカは望まない。戦争には反対である。何らかの努力をして回避すべき。マレーシアにもインドネシア、シンガポールの間にも問題がある。



マハティール・
ビン・モハマド
マレーシア元首相

日；中国とベトナムの関係については？緊迫しているが？どちらかに死亡者が出れば更に緊迫する。

マ；戦争は危険である。あおってはいけないということ。政府は緊張緩和しようとしている。今、抑えようとしている。

日；日本は？中国・韓国に対して右寄りにいこうとしていると言われているが？

マ；戦争を放棄した国だ。日本も同じような国になろうとしている。アメリカは何らかの武力をほのめかすことで、対応してきた国。軍勢力をちらつかせて。日本はアメリカと友好関係を続けるべきであるが、アメリカといつも同じではない。

日；解釈変更することには反対？

マ；申し訳ないが。前回の戦争で負けた国のほうが繁栄しているのでは。

日；価値基準が、アジアと欧米で違う。お金を稼ぐ意味が違う。経済セクターが、アメリカはアメリカの価値基準がある。マレーシアはマレーシアのものを維持するのをどうやって行う？

マ；マレーシアは通貨危機の時に IMF を頼らなかった。人種だけでなく、文化言語、宗教でも摩擦をなくした。IMF は収益だけの均衡を見るが、そうではない。マレーシアは TPP に合意したが、よく調べるといろいろと脅威もある。原料に近い生産品もある。調印をためらうかもしれない。

日；プミトラ政策は、メディアが簡単に考えすぎかもしれない。先住民、マレーの人々を華僑より保護し優遇するような。また、ビジネスマンに戻るが、何をプロトンでやっていくことに？（注；プロトン：マハティール氏が最近顧問に就いたマレーシアの自動車メーカー）

マ；マレーの企業というわけではない。政府が始めた。プロトンは自動車産業として、日・韓と戦っていけなかった。保護によって 80% の市場がプロトンにきたが、今は 20% 台。政府が守ってくれればいい。日本の車は日本で一番売れている。私たちは始めたばかりだ。

日；国内市場に焦点をあてる？

マ；当初はそう。だが、保護もなくなってきた。海外に目を向けなければならない。

日；電子機器が今、盛んである。将来は自動車も？

マ；外国の車を組み立てていてはいけけない。A～Z までやっていく。マレーシア製の車を作る。タイとは違う。これにはお金がいる。

日；マレーシアは独特。インドネシア・ベトナムより高い。ガラスの天井だが？

マ；産業の保護をすべて手放すことはできない。一方で、外国市場もいる。FTA にかかわらず。保護をさせてほしい。

（会場）

Q1; マレーシアの工場に行ったら、ミャンマー人とバングラデシュ人がたくさん働いていた。多様性があってもめなないコツは？

A1; マレーシアは複数人種の国。イギリスの時代から、中国、インドから来て定住していった。彼らの所得はマレー人を上回る。貧富の差が生まれた。格差が組合につながり、社会主義・共産主義につながっていった。所得の格差が紛争の元になる。所得の格差を発表・公表するだけでなく、追いつくことが可能になるように。新経済政策。中国系は資本で 60%、ずっと以前から投資を行っている。マレー系は農業や漁業など、チャンスだけでは成功できない。マレーシアは安定しており、共有が正しい。競争主義ではない。成功した人は成功していない人に与えるべき。前向きな差別を行う。3 つの人種に分かれているにも関わらずに。

日；日本は労働力が足りなくなっている。ミャンマー人やバングラデシュ人は定住している？

マ；新経済主義の時に労働力不足になった。市民権は与えていない。2 年までいられる。たまに外国人労働者同士でもめごと。

日；ASEAN はもっと労働移動すべきと考える？

マ；互いに仲良くできない場合もある。インドネシア、バングラデシュとは協定を結んでいる。マレーシアに来て失業したままの人もある。不法滞在の人もある。しかし、外国人は必要。

日；現実的な方法だ。日本にはない。

（会場）

Q2;LOOK EAST で、日本・韓国・台湾を見てやってこられた。振り返ってどうだったか？

A2;点はつけられないが、恩恵は非常に大きい。投資も呼び込めた。日本の労働者にはたくさん習った。LOOK EAST を考えたとき、欧米はもうだめだった。点をつければ、10 点満点の 5 点くらい。

日；今、新しい LOOK EAST をするとすれば？

マ；労働倫理。マレーシアの労働者は時間外にストをする。欧米は時間に関係なくストをする。組合はあるし、ストもするが、集団の価値を優先する。向米は個人の価値。まだまだ LOOK EAST でいく。

日；グローバル化は仕方ない？

マ；ウォールストリートの数字。一人当たりの所得で、アメリカは多いが、貧しい人はたくさんいる。2000 人の人のうち、ひとりでも億万長者がいると一人当たりの所得は多くなる。富裕層が占める。豊かな国とは言えない。日本にはあまりいない。中国・マレーシアにはいる。

Q3；国際的な緊張についてはどうか？北東アジア。

A3;冷静に考えるべき。ヨーロッパはうまくやっている。EU の一員。過去がこんなことが起きた、とか、こんなことがあるとかでなく、未来を。

日；安倍首相のアプローチは十分か？

マ；支持率を高くしておきたいために、仕方ないこともあるが、感情を掻き立てて支持をあおぐべきでない。人気取りの政治をすべきでない。極端な考えの人の方ばかり向いてはいけない。経済もそうである。

日；プーチンの動きはどうか？

マ；民主的な政府を、街頭デモが転覆させた。ウクライナ。選挙をしなくてもよいと言っている。シリアもそう。おかしい。

日；アメリカが弱くなったからという人もいる。シリアやウクライナの問題。

マ；アメリカは民主主義国家。国内でうあっていることとやりたいことの間に差がある。すべての国を国連に参加させるべき。

Q4;マレーシアはイスラム金融だが、アジア将来に対しイスラム金融やハラールについてはどうか？

A4;1 7 億のイスラム信者がいる。ほとんどの銀行がイスラム金融の窓口を持っている。通常の銀行と同じことをやっている。イスラムにこだわることにより、ハラールビジネスが生まれる。正しい儀式に従う。豚肉とそれに関わるものはだめ。ハラールビジネス。

日；中東の国とつながる可能性がある。マレーシアが金融センターになることも。

Q5;メキシコは日本から投資を受けた。自動車産業。メキシコへのアドバイスを。日本へも。

A5;海外企業の参入を抵抗してきた。他の国にもチャンスはあると考えようになった。海外直接投資に頼るしかなかった。日本（の企業）がどんどんやってきた。マレーシアは成功し、次々と他の国も。

メキシコはアメリカから。日本は投資してきて、マレーシアは安い労働力を提供してきた。雇用が問題であれば雇用に関する取り決めをすればいい。日本の投資が経済を助けるだけでなく、失業率も改善することにもなる。

6. Trialogue（三者対談）

○中尾武慶氏 ADB 総裁

○スリン・ヒスワ 前 ASEAN 事務局長

○滝山 晋氏 Nikkei Asian Review 編集長

滝；アジア経済は今まで順調だったが、今後については？

中；中国では新しい中間層が出てきた。アジア経済には復元力がある。

スリン；世界と競争できるかという点だ。外国投資・安い労働力・資源の点で。中国が進んでインドが続いた。他の国は脅威に感じている。互いの投資をして、資本を動かすことが本当にできるかという点にある。AEC を構成するには、もっと域内のやり取りを行う必要がある。日本の投資が重要。やるべきこと、まだまだ残っている。

滝；2015 年に発足する AEC だが、準備はできている？

中；ASEAN の経済は、6 億人の人口を抱え、2 兆 4000 億ドルの規模。日本の半分くらいになる。AEC のターゲットの 80% はできている。70% は非関税になった。地域への投資や労働市場の動き、地域への協力など。日・中・韓にインドが入ってくる。

ASEAN の基本は 6 か国で始まった。関税を撤廃するということは、経済障壁をなくすことだが、非関税は別にしなくてもいいという国もある。

600~700 の項目がある。流通させるためのインフラ + 中小企業もいる。タイ・インドネシア・フィリピン・マレーシア・シンガポールの大手はもうやっている。ASEAN 市場を統合していかなければならない。日本の中堅・中小とのマッチングもいる。1000 億ドル以上の投資が EU からになっているが、かつては日本からだった。日本にもっときてほしい。中間層が増え、購買力も増えている。1 万ドル以上の GDP。中所得の人の人口が増えていく。日本の中堅・中小にとっては非常に大きいチャンス。

中；アジア開発において、多くの国が 35 億人のうち 7 億人が貧困レベル。16 億がミドル以下。中所得の“ワナ”もある。

< 注；ちゅうしょとくこくのわな Middle-income trap

中所得国の罠は、自国経済が中所得国のレベルで停滞し、先進国（高所得国）入りできない状況をいう。これは、新興国が低賃金の労働力等を原動力として経済成長し、中所得国の仲間入りを果たした後、自国の人件費の上昇や後発新興国の追い上げ、先進国の先端イノベーション（技術力等）の格差に遭って競争力を失い、経済成長が停滞する現象を指す。

一般に中所得国とは、一人当たりの国内総生産（GDP）が 3 千ドルから 1 万ドル程度の国を指し、実際に 1 万ドルに達した後には本状況に陥る国や地域が多い（1 万ドルから 2 万ドルには中々達しない）。また、歴史を振り返ると、低所得国から中所得国になることができた国は多いものの、一方で高所得国の水準を達成できる国は比較的少ないと言える

この罠を回避するには、中所得国において、規模の経済を実現すると共に産業の高度化が欠かせないが、そのために必要な技術の獲得や人材の育成、社会の変革（金融システムの整備や腐敗・汚職の根絶等）が進まないのが大きな課題となっている。ちなみに、東アジア地域においては、韓国や台湾が 1990 年代後半にかけて、この罠に陥り伸び悩んだが、その後、電機や IT などを核に産業を高度化し、高所得国入りを果たした。>

マレーシアは中所得を卒業して高所得になった。高齢化や教育など新たな問題も出ている。国境を越えたインフラを実現する。道路・高速・水力発電・港湾・

スリン；各々の ASEAN は、GDP の 0.5% のみが研究投資。シンガポールは違う。シンガポールには労働力がなないので、研究・イノベーションに投資する。もし、6 億人の人が前進的にもっと繁栄して中所得になればパートナーや消費者になる。生活用品を輸出していく。これらの国も ADB が橋掛けになっていく。日本の国は、知財に関して懸念がある。日本は高齢化に対処していかなければならない。アジア自信が成長して消費者になる。次の 20 年は日本が単なる投資でなく、アジアの国を成長させる力になってほしい。

滝；（ご自身の出身の）タイは大丈夫？

スリン；自らの新しいバランスを見つけるだろう。この 15 年、不均衡があった。韓国・マレーシアと比べても不安定性、貧富の差があった。軍がやっているのは憲法が生きている。軍がクーデターをやったのとは違う。何が改革されるべきか、政治のリストラクチャリング・新しいバランスが必要。ひどい暴力は起きていない。腐敗や権力の悪用から起きている。

中；政治の安定があって成長してきた。必要なのは政治の安定性。ADB は政治機関ではないので、コメント 9 はあまりできないと思うが。

（会場）

Q1;ASEAN の次の目標は？

A1;本当の実行を伴っていくものにしていく。2 番目は RCEP。すべてまとめて ASEAN が成長の中心になっていく。東アジア・パラドックスに陥ることもある。2015 年後の AGENDA がいる。

Q2;タイ問題について。アメリカ型の民主主義でよいのかという質問と、地方とバンコクの問題について。

A2;選択はもうない。軍が入って戒厳令を引いた。（ASEAN 諸国が？）6.5%の成長であるのに、タイではマイナス。ここ数年タイでは政策が実行されなかった。タイは ASEAN の中心部に位置する。タイを通らなければ何もない。インドネシアの次。農業だけではない。タイの人々にもっと雇用創出となる投資がいる。

7. マヘンドラ・シレガル

・インドネシア投資調整庁長官

インドネシアは消費の成長によって国外の投資を呼び込んでいる。年間 5~6%の成長があり、世界 7 位となる。7%になれば輸出主導では、ゼロサムゲームとなる。これまで ASEAN 解放・自由化に的を当ててきたが、これからは違うようになる。インドネシアでナショナリズムが高まってきているからともいわれるが、ナショナリズムはどの国でもある。グローバル経済では、ナショナリズムは合わない。インドネシアは移行期にある。先進国ではどこも直面している。雇用・医療を提供していけるのか、過去に行われた政策を今はやっている。移行期にあり、投資に対して閉鎖的とは思わない。医療・教育が改善されてきているが、日本が過去にこうしたことを克服したのであれば、インドネシアもできる。



マヘンドラ・
シレガル
インドネシア
投資調整庁長官

フォーカスを、持続可能・長期安定。1 次産品の輸出国。300 万人の雇用市場になった。衣類などである。労働集約型の産業は他の国に移っている。インドネシアは 3 億人。労働集約型が可能なのは、生産活動年齢が非生産年齢より上回っている間でない、人口ボーナスは得られない。経済は、オープンといっている企業、開発で成長する。金融セクターの安定もいる。需要を満たすものも国内で生産していなかった。インドネシアと日本では、日本人投資家がインドネシアに投資して、ローカルなコンポーネントを作っている。

日；東アジア団結して臨むべき？ どのような行動をとっていくべきか？

マ；次のステップ。ホットラインを作るには合意が必要。行動を起こすか、ということ。

日；最近、G8 がロシアを追放して G7 となった。G7 排除しようとして G0 ともいわれるが。

（会場）

Q1;インドネシアは持続可能な経済に、向かうと言われた。成長は落ちる？

A1;中国・インドは早い。違いはインドネシアが安定している点。5.5%~6%

8. パネルディスカッション

○高原明生氏

○ジェームズ・ショフ氏

○千 英宇氏

○閻 学通氏

○北岡 伸一氏

<ジェームズ・ショフ>

アジアの発展は数十年、目にしてきたが、色々な課題もある。中国の軍事費は伸びる。しかし、一人当たりの所得は低い。尖閣にくる中国船、中国に対してスクランブル飛行の数は増大している。この地域での軍事能力を高めてジョイント能力を上げる。

もうひとつはヘーゲルの悲劇。正しいと信じている者同士が相手を認めずぶつかる。日中・日韓、日米の同盟、韓米の同盟がベースになっていく。共通の利益に向かって対話を行っていく。

資料—1

安全保障のジレンマに、相互理解を深め、解決していく。

<千 英宇>

北東アジアでは、20世紀日本が台頭し、中国が衰退、今逆になっている。100年前と同じことが起こっている。ナショナリズムが台頭。1914年と似ている。が、繰り返すとは思わない。外部のプレーヤー（アメリカ）もいる。韓国の立場はどうか。朝鮮半島は、大国の間にはさまってきた。20世紀初頭は併合・占領。半島に利害を持っている人々が平和と安定が利益につながるときに安定。

中国は台頭する大きな力をもってきた。経済的に依存するためにいろいろなことも起こる。中国の台頭によって韓国のとる行動が中国に寄っていると誤解されている。

国連54章の憲章では、各国集団的自衛権を持っている。日本の安全保障が北朝鮮に対してのものであれば韓国の国益にもつながる。日本の憲法の見直しは、単なる見直しでなく、安倍政権が最悪の日韓関係の時に出来たことが懸念を生む。

韓国の安保、北朝鮮の非核化が重要。6か国協議で進めたが、うまくいかない。1000以上もあると言われる単一の核弾頭が韓国の領土で爆発しても許されない。北朝鮮の核兵器を無害にしていかなければならない。米韓の軍事演習をすればISR情報を共有できる。分業によってミサイルを迎撃できる。

日韓関係は、今、理想的ではない。どちらが悪いとは言わないが、安倍首相の修正主義は良いとは思わない。韓国も過去のとりこになってはいけない。国民感情に従ってはいけない。パッケージでやることは解決がしやすくなる。慰安婦・独島（竹島）・教科書・集団的自衛権、海賊などをパッケージで解決する。日本は常任理事国になりたがっている。日韓修復して50周年が節目。

<高原 明生>

不合理なナショナリズムの高まりによって、中国でも反日。調査をすると、ほとんどの人が何とかしないといけないと思っている。しかし、感情として許せないという感じ。経済的には深まるばかりなのに、なぜか。2009年の金融危機以降、閉塞感がある。中国は特に若者、就職のことで。昔はチャイニーズ・ドリームがあった。ここにきてしぼんできている。縁故主義に。空いたところに習近平がチャイニーズ・ドリームを吹き込んでいる。日本は、中国の発展を助けて貧困は減った。大国になって客観視できなくなっているのではないか。

5月15日習近平の演説、「中国人のDNAには他国を侵略するものはない。」と言った。ベトナム側がこれをどうみるか。実力行使には対応すべきではあるが、対話をすべきである。中国は日本が領土間の問題ないといっているから、対話もできないというが、そうではない。

<閻 学通>

ASEAN + 日中韓で考えたい。安倍政権の安保政策がアジアに平和をもたらすことできるのかという点。冷戦以降、変わった。小さな武力衝突はあった。戦争の脅威にある。中国と米国が核のバランスをとっている。90 年代初頭は、どこも軍事演習をやっていなかった。中露は東シナ海で、米韓ともに同じ。アメリカも同じことをやってきた。しかし、新たな同盟国はできなかった。20 年で中国が追いつくことはできない。海軍でアメリカは優位ではあったが、緊張関係はとれなかった。安倍政権は集団的自衛権の解釈を変えるが、より不安定にする。2 極化、中国/ロシア、日本/アメリカに。安定した中米関係がいる。

高原先生の言う通り。中国にとって日本は重要。日中の関係が良ければいい。経済統合ができればそれでいいかという政治的な安定が必要。

今回のミーティングに出席することが重要と考えてやってきた。安倍政権後に期待する。

<パネル・ディスカッション>

北；安保に関しては、当たり前のことを安倍さんはやっている。NSC、国家安全保障局が作られた。日本の官僚の一番悪いところは縦割りである。NSS 国家安全保障条約。

’57 に国防の基本ができた。憲法 9 条 2 項。軍備がなければいいというのは、安保上のこと。日本は 1950 年から ODA をやっている。東南アジアの平和につながる。’97 からは PKO。

昨年、防衛大綱は、2010 年までは北を向いていた。正面からの侵略に備えられていない。PKO にも対応していない。集団的自衛権をいざというときに行使できるようにする。

武器輸出三原則は調達に高づく。防衛装備品のあり方が見直されている。

全部実現しても世界的には平和な国だ。中国が本当に平和に貢献したいのであれば、軍の増強をやめるべき。

高；長期的に中国の軍拡は続く。それをどうするか。抑止力の強化と対話を同時にやるべき。経済交流の深化が助けることもある。国際的規範を守る。中国では、富国強兵のムード。早く抜けてほしい。日本が提案しても聞かない。日本は日本の国を充実させる。科学技術、人的な外交センスのない民族は滅ぶ。

北；2010 年、あらゆる交流が途絶えた。今回は、途絶えていない。観光も減っていない。日本の客は減っている。互いに相手の国に安心していけるようにすべき。

ショフ；日本の防衛は、閻さんの発言では、地域の安定につながらないというもの。中国には脅威にうつる。不確定要素は北朝鮮にある。ヘッジをかけるべき。まず、直面する問題を認識する。韓国が対処しようとしているが、多国間で進めるべきだ。

千；ひとつの問題を解決しても次の問題が発生する。尖閣をめぐる日中の衝突もある。日本では、2/3 の議席は得られない。軍事衝突が起これば変えてしまう。中国が国内問題を抱えている中で、尖閣は魅力的。手を出したくなる。

北；尖閣は、本当にそういうことだ。フィリピンでは国際裁判。中国は今の国際法を守っても発展できるのではないか。

閻；日本にとっての危険がどんなものか、歴史的なものに基づくべき。中国は軍事力を抑えるべきというが、日本のメディアの意見であり、世界はそうは思っていない。アメリカの航空機に大使館が攻撃されることを主張せずに責任だけを負うことは中国はしない。

中国は 21 の国と近接している。日本は 6 つのみ。日本の安保は、積極的平和主義。中国は尖閣を使う。

10 年は政権を維持できる。3 年で変わるものではない。

国際法廷は解釈が違う。アメリカがイラクに戦争をしかけたのはどうか？ロシアがクリミアに併合したのはどうか？

ダブル・スタンダードではないのか？

高；10 年変わらないのは確かだが、共産党も意見はバラバラ。どうまとめるかが問題。昔の被害者意識から早く脱却してほしい。

ショフ；閻先生、ダブルスタンダードがあるのは事実。集団的自衛権については、北朝鮮に対して集団で対処する。

千；国際法。インターナショナル・コミュニティと国のコミュニティがある。国境を越えた紛争に万能薬はない。閻先生に同情するところはある。あまりに騒ぎすぎ。韓国はアメリカに頼っている。中国はロシア。

閻；島の所有者が法律によって決まるのは誤解。最初に国有化したのは日本。安倍政権は外交的努力をしないと。対話を持つ可能性を否定した。

1984 年から中国はどの戦争にも関わっていない。日本はイラクに行っている。

北；CICA（アジア相互信頼醸成会議）

II. 2014年5月23日（金）第2日目

9.スリ・ムルヤニ・インドラワティ

・世界銀行 専務理事

安価に資金を調達できる時代は終わった。総合特区や法人税減税など好ましい取り組み。東アジアは途上国が世界経済の半分を占める。中国が 15%、アメリカは 17%、中国が追い抜くのは予想を超える。インドは日本を抜いて 3 位になる。東アジアでは太平洋の人口が 21%。世界の成長の中心に。現在の傾向がこのまま続くとは限らない。経済の課題は二つ。生産性とマクロ経済。101 の中所得国のうち、高所得になったのは 50 年で 13 のみ。中所得国のワナがある。成長のパターンを農業から工業へというだけではない。生産性の向上が必要。トレンドを持続させるには、人・スキルに投資が必要。研究開発やインフラも必要。途上国は、2020 年まで毎年インフラ投資を倍増させる必要がある。まずは労働力の柔軟性と一方で保護も。

投資は日が引っぱり、次に韓国、その次が中国。マクロ経済の不均衡のリスクがある。ラテンアメリカは、80 年代の最初の金融危機から 10 年かけ回復した。

成長に対する効果、量的緩和の縮小の次はどうするか。

銀行はバランスシートを修復し、危機に備える。マクロプロデンス対策。マクロ経済の安定性のため。所得の不平等が中国・インドネシアで目立つ。不平等が広がることには目を光らせる。機会の不平等につながる。

東アジアは、所得のモビリティがやはり高い。子どもの学力は両親の所得にあまり関連しない。都市部に半分住んでいる。やがて 2/3 になる。GDP の 8 割は都市部。どんな国も、中所得を目指すには、都市化を目指す。年に住むと、他の均衡も必要。都市部は世界のエネルギーの 7 割を消費し、温室効果ガスの 8 割を放出する。中国は、改革のプログラムによって持続的なものにしなければならない。

東アジアは高齢化を迎える。急速な高齢化に対応しなければならない。年金・医療費が経済にインパクト。日本・韓国・香港。

女性の労働力への参加・促進がいる。中所得層が増えると需要も増える。しかし、資源も限られている。バランスをとるために、いろいろなトレードオフ。一番の脅威は民間エリート層の腐敗。自らの特権を守ろうとする。

台頭する東アジアでは、今の秩序は、2 次大戦後のもの。いきいきと発展する東アジアは、国際的な発言力を持つと同時に他の世界のことも考える必要がある。

短期間で発展した。世銀グループは協力する。貧困をなくし、発展を促す。専門知識を提供できる。ソースは、内部または、民間グループから。日本と今後の何十年も協力できるだろう。



スリ・ムルヤニ・
インドラワティ

世界銀行最高執行責任者・
専務理事

日； easy money easy growth の時代は終わったということ。先進国の中で、金融政策は変わってきた。特に日銀、どう？

スリ；各国でちがう構造。アメリカ回復したが、まだ脆弱。量的緩和の縮小をやっていくだろう。ヨーロッパは失業率も高い。日本、一番重要なのは構造改革。マクロ経済の政策は重要だが、それだけではいけない。構造改革の Speed と深さと合致していなければならない。難題を乗り越えて生産性回復できるかが課題。

日；今日のニュース、タイのクーデター、中国ウルムチ etc. 経済への影響。

スリ；この 20 年、東アジアの発展、安定を基礎としてきた。現在の緊張は克服できるとみている。リーダー達はこれまでの 20 年を振り返ってほしい。どうすれば相互に恩恵を受けられるか考える。

(会場)

Q1；インドネシアの副大統領候補など若いリーダー、スリ・ムルヤニさんの言っていることと違う。スリ・ムルヤニさんの言っていることに agree する。どうすれば分かってもらえる？

A1；インドネシア'97'98の通貨危機の後、多くの政策がつけられた。この時、立法措置された基盤再建を発行できる権限、中央銀行の独立性を保たれる。アジア経済共同体ができることで、インドネシア誰が選出されようと、アジア〜の中でリーダーとしてのふるまい。これから 1 ヶ月、2 ヶ月後に選ばれるリーダーはそれを認識すべき。

10. ソーティン

・ミャンマー大統領府相

これから 20 年のミャンマーについて話したい。ミャンマー、前例のない改革行われている。民主主義と少数民族との和解。自由経済と貿易では、インドと中国の交差点にある。多様性は強みにもなる。2034 年までに民主主義国になる。市民と当局の交渉による。透明性のある選挙。2015 年の選挙。check & バランス、公正な警察。多数派が少数派を守るかが重要。main land にいる人が少数の人に対して。司法が重要な役割を果たす。弱者の権利を守る新しい教育制度。平等、表現の自由が許されている。Internet、民間のメディアが設立されている。



ソー・ティン
ミャンマー
大統領府相

制限的なものもある、集会の自由は、数年で変わる。信仰の自由。数年で。人々が正義を求めて裁判所にいけなければいけない。

かつてはアジアの米びつと呼ばれたが貧しい国になった。適切な投資、外国からの投資機能させるには企業が価値を持たなければならない。道路や橋、水、インフラを作る。付加価値のある輸出に力を入れる。生物多様性を守る。豊かな資源、将来の世代にも富を生めるようにする。

天然資源の保護や、希少木材の輸出禁止。ノルウェーのやり方に学ぶ。土地や人々を、ホルモン剤で汚染させない。農民に対してもミャンマーが再び米どころとなるよう。

民主主義が進展。男女平等をめざす。ダイバーシティを重要視する。又、文化的なダイバーシティも重要。

これから先、ダイバーシティを認めていく。ある法律では小学校では母語で教育を受ける権利。続いて安全保障。人権、市民権を進展。武力紛争のみが唯一解決策と思われてきた。今、少数民族と交渉。軍は 16 の武装グループと停戦の合意（2 年で）Federal Union である。平和の為の交渉。全国レベルの和平交渉。数年後に全国レベルの和平合意が得られる。土地、文化に対する権利など保証すれば武器を持つグループがかわっていく。

State Nation（多民族国家を指す？）で生きていく。各々のアイデンティティを持ったまま。豊かなダイバーシティ、各々のグループがアイデンティティを持ったまま発展する。何世紀もミャンマーは孤立してきた。世界の一員となって貢献していく。

フード、セキュリティにも貢献したい。貧しい人々を助ける。安全保証は単に軍事だけの問題ではない。

（対談）

日；マイルストーンは 2015 年の選挙。ミャンマーは、今の憲法ではアウンサンスーチーさんが出馬できない。変更する？

ソー；これから修正していかなければならない。議会がすべき。

日；ASEAN 経済共同体が 2015 年にできる。ミャンマーの準備体制は？

ソー；同意するつもり。

日；ベトナム、フィリピン、中国の緊張高まる。ミャンマーとしては？

ソー；お互いに尊重して解決していく。

（会場）

Q1；政府の検閲を撤廃すると言われている。外国の投資に対して今は規制が厳しいが、変えていく？

A1；規制はあるが投資は歓迎する。

日；日本との関係は？日本の企業注目している。

ソー；日本の政府、国民に感謝する。技術、ノウハウ教えてほしい。人を育ててほしい。投資を望む。農業やマーケティング教えてほしい。加工して輸出するようにしたい。軍事政権のシステムではなく民主主義で。

日；タイで軍事クーデターがあったが？

ソー；民主主義の過程ではないか。軍事から国民に政権を戻す。

1 1. 〈パネルディスカッション〉

○グエン・パオ・ホアン

○サイモン・シエン

○スパマス・トリウィサワウエー

○宣奇式

○小柳

〈グエン・パオ・ホアン〉

’73 生まれ 2 才でアメリカに行く。’75 にベトナム戦争終わる。父がエンジニア ハーバードに行き、古典文学。その後、医学部に。2 人の兄も医師。ベトナムに戻る。ベンチャーキャピタル立ち上げ。

アメリカでマクドナルドで育った。ベトナムにマクドナルド、スポーツなど持ち込んだ。ベトナムで自分のルーツ発見した。

〈サイモン・シモン〉

1973 年に作られた会社。台湾ではエレクトリックで主流。Kimpoo Group。

377 億ドルに今年チャレンジ。ODM の売り上げ。世界中に工場。ハードディスクのサプライヤー No.1。新しい製品としては 3D プリンター。日本の企業と長いパートナー。

〈スパマス・トリウィサワエー〉

建設会社社長。チョーカンチャーパワーCKP。タイでトップの電力会社になる。水力発電 350 万 MW の会社（ラオス）ソーラーパワー（タイ）

〈宣 奇武〉

22 年前ひとりの貧しい留学生として来日。清華大後、中国の自動車会社、その後九州大学で修士と博士。その後、三菱自動車に 6 年間。中国 2020 年、4000 万台（1800 万 + 2200 万）

ほとんどの会社が独自の技術力で開発。エンジニア 1500 名。中国の自動車メーカー支援。

日；各国のビジネスの機会について。

ホアン；ベトナムの 7 割は私より若い。（私 41 才）経験不足だが、15～65 才の 8 割が労働参加。80 年代以降の人。アジアの未来では、東アジア中心だった、昨日のパネル。ベトナムは中国、韓国に近い東アジアに入る。

ベトナムは、90 年代より前 150 年間、自治権なかった。クメールルージュの影響もあった。フランス領から独立。国連のいう貧困は 7% 以下。貧困国でない。China + 1 になっているが近代国になるには若い起業家に投資。若い国で中国の儒教の職業倫理を持っている。勤勉が、成長の基盤

サイモン；台湾は小さな島だが日本の文化よく理解。台湾は日本のよいパートナーになれる。台湾出生率低く、高齢化、経済はふるっていない。中国本土に投資するようになった。安倍政権 日本は正しい方向に向かう。台湾も必要。中国から東南アジアに投資。

〈トリウィサワエー〉

ビジネスは通常通り。民主国家になって（'82）から 12 回のクーデター。1 つの solution としてクーデター。東南アジアの中心。戦略的な場所。物理的インフラ、ロジシステム、銀行、法制度などそろってる。タイをハブにすることも。

インセンティブシステムがある。税制優遇や税控除で海外の投資家に merit。6 年間政治の混乱あるが。

日；タイのこと。軍事政権が出るとタイの投資は？

トリ；タイをよく知っている投資家なら、やがて落ち着くことがわかる。

日；ご自身の投資計画に変化ない？

トリ；ラッキーなことに電力は政治的リスクない。

サイモン；タイに進出。1300 人の従業員がいる。クーデターは、時々起こることとわかっている。すぐに落ち着くと思う。

日；中国は？

宣；かつて中国から来た時、1 日のアルバイト 1 万円は中国の 3 ヶ月の給料だった。（¥3000）だった。10 年間は発展続けるだろう。PM2.5 にも、中国は、力を入れる。

日；政治のことについて。民主主義がビジネスにとって最良とは限らない。

ホアン；中国をモデルにしている。民主主義は人々を代表して政治ピラミッドになる。ベトナムは中国式だが、ベトナムは1党ではない。ベトナムは民事法廷がある。

投資について。ビジネスの世界には、グレーゾーン。あいまいさがある。法の支配を尊重する政府があればビジネスは成功できる。

日；1党支配、投資家は心配。

ホアン；ベトナムは Check & バランス。共産党のルールは絶対。

宣；1党支配のいい所悪い所わかっている。日本やヨーロッパでは、所得は大体同じ。民主主義に向いている。中国やアラビアは差がある。向かない。

日本では8割が普通、1割が高い、1割が低い所得。中国では、1割が高い、3割が普通、6割が貧しい。

日；共産党の政策では、中国やベトナムで突然変わることを恐れる。懸念はないか？

宣；コニカ、ミノルタの社長と昨日一緒だった。今の主席、鉄腕発揮して色々と躍起に。

日；強力な共産党でも民間の企業の利益を損なうことはしない？

宣；科挙制度のように役人としていかに人々によくするか考えている。日本のマスコミは悪い所ばかりとりあげる。

サイモン；アメリカ人は民主主義が1番というが、国に適するかどうかは別。いいリーダーがいるかが重要。中国の速い成長は、一党支配だからできた。ベトナムやタイでは停滞。

日；タイ、サイモンさんのビジネスにとって今の方がいい？

サイモン；6年くらいこんな状況。タイのリーダーがこのやり方ベストと考えている。

トリ；政治システムは、その国に合うかどうかによる。代表民主主義はたくさんの人が関与しなければならない。たくさんの人が参加すると対立もある。どういうリターンがあるかを考えて投資するので安定性はある。

日；民主主義だけでなく当局の透明性。隣国は？

トリ；ラオスに投資、問題はない。ミャンマーは今、法制度整えている。

ホマン；透明性・汚職について言うと、まずは Check & Ballance 必要。ミャンマーは時間がかかる。ベトナムも10年前はそうだった。新しい市場には必ずそういうことある。

日；次は Innovation について。自己成長についてどうか。

ホマン；ベンチャーキャピタル投資家としては重要な point。中国の変革は市場の Innovation で起きている。中国で今、起きている。中国で革新生まれる。

ベトナムはまだ若い。何と言っても教育、FDI 主導の低コスト人件費から近代国家にベトナムがいくには。ベトナムの学生、外国に行こうとする。しかし、ベトナム国内に投資すべき。

サイモン；台湾は、若い人がリスクを負いたがらない。若い人少ない。世界中から人を集めなければならない。

トリ；情報へのアクセスをよくする。若い世代の人たちに知識の移転。そこから Innovation も生まれる。コピーライトをどう確保するかの問題もある。

日；宣さんはマネをしない企業の代表。

宣；（真似することは）貧しいから会社を存続の為にやったと思う。教育を受けてない町工場の人なら、やるかもしれない。回りの国との関係がよくないことがちょっと問題。アジアは GD で P 欧米を越える。企業をするだけでなく社会的なことも。

（会場）

Q1 ; 損保。各国に支店がある。サイモンさんは昨日のクーデター歓迎する？ スパマスさんは？

サイモン ; 軍の介入があると予期していた。悪いことでない。より良い解決。これ以上大きいものにならない。

トリ ; 感情は言えない。ビジネス家は中立でないと。

午後 13 : 55 ~

12. ティム・ブローカー

・ニュージーランド貿易相

T P P といえば日本で甘利大臣。ニュージーランド防衛的だった全ての産業を保護してきた。最も高い関税率、輸出が必要だった。まずはオーストラリアそして中国、RCEP。中国は T P P 別の機会と見ている。日本だけが内向きになってもいけない。繁栄がある。反対があることもわかっている。

ワイン業界で同じようなことがあった。オーストラリアのブドウの収穫。ニュージーランドより向く。暖かい、ニュージーランド寒い。ニュージーランドが負けてしまう。しかし、ニュージーランドのワイン業界は品質で勝負したい。後退していない。

保護された農業。日本。アジアの中で中国は最大。そして、インド。インドは新しい首相、成長策をとるのか？

超大型のデール 28 の地域と米国。RCEP は中国、インド入るが、T P P は米日が入る。パートナーシップと呼ぼうがどう呼ぼうが私には驚きだった。70 年間動いていなかったものをもう一度自由貿易。

W T O では見られないのが残念。農産物の自由化の方法見つからない。1990 年代の 2 国間の質の低い F T A の収れん性。そもそも参加国は F T A を結んでいる。N Z はシンガポールと etc. これらともっと一体化した。シンガポールと N Z P 5 Pacific 5 最終的に P 4 となった。アメリカ、アジアに興味を持ち P 4 に。

N Z は法的な P 4 の管理者。

T P P の管理者に。これから中国参加も。アジア、太平洋自由貿易圏ができる。日本が T P P に参加。ゲームの掛け金が上がった。

日本は N Z より 10 % 大きいだけ。しかし、日本は世界の G D P の 9 %。過去 20 年はわき道にそれていた。アベノミクス根深い問題への対応。3 本の矢を放った。再生した。7 年前と比べると。日本の経済が病気で世界の経済よくならない。2 本は放たれたが 3 本目難しい。

20 世紀に解決できなかったルールを解決せずに 21 世紀の解決はない。保護主義、E コマース、国益企業のルール、ビジネスの移動。T P P バスは、東京駅目的地でない。

農業の分野、日本の農業は袋小路にきている。政治的に何かしなければどうもできない。65 才以下は 10 % (専業農家で) 耕作放棄地広がる。保護をして補助金あってもものびていない。生産性低い。日本の農業は質の農業へいくべき。

日 ; 日経の昨日の interview。T P P の交渉、年内に妥結可能？

ティム ; 可能と思う。Time table はない。設定してしまうと失敗する。首脳会合をした。時間をかけて年末までにできると思う。

日 ; ワイン業界の話。どうやって反対派を？

ティム ; 今、競争力を持っていない。Sector に対して輸出を中心に考える。まず競争しなさいと。ロバに人参を与えるとした太るだけ。ムチもいる。ワイン業界は、競争できるワインになった。質の高いワインを作る。質の高いワインに助成金。日本の農業も同じ。今すぐはできないが、人相手なので。



ティム・グローサー

ニュージーランド貿易相

(会場)

Q1 ; RCEP 米国入っていない。T P P 中国入っていない。将来、自由貿易圏成立できる？ N Z がその為に働くことは？

A1 ; N o です。2 つの大国妥協させていく。茂木さん。APEC economy。T P P 成功させて F T A P に結びつけていく。

Q2 ; メキシコから来た。ラテンアメリカのこと入れてくれて嬉しい。大体アメリカばかり。T P P など考える時。ラテンアメリカに対しては？

A2 ; メキシコ 1.1 億人、コロンビア 4 5 0 0 万人。ラテンアメリカを考えると重要。N Z はメキシコとコロンビアのサントス大統領の発言。貿易の統合などは国として対処すべき。政治の延長ではない。Paciffic Alliance

1 3 . レ・ルオン・シン

・ A S E A N 事務局長

アジア共同体まで 1 年半。2 7 年前 5 カ国で始まった。A S E A N 東ティモール入れば 6 億人。2.5 兆ドルになる。実施の為に 2 0 % ほど残っているが。平和と安定性。地域の変化を受け入れる。

経済統合の仕組みつくりやすく。アジア通貨危機や金融危機を越えてきた。原産地証明、関税統合、カンボジア、ラオス、ミャンマーで 0 ~ 5 % の関税、ASEAN Single Window Pilot Component 2 0 1 5 年までに実施する。非関税の為に機関が設立され、医療品や化粧品のテスト機関ができる。資本勘定体制。OPEN さを測定する。

チェンマイ・イニシアティブのマルチ化に賛成。A S E A N 包括的投資協定。競争力、輸送の促進で高められていく。連結性の master plan 進められていく。官民 partner ship。カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム 2013 年に G D P 1 2 % 。

大胆な Agenda に取り組む。RCEP を確立する。2 0 1 5 年末までに実現することが試されている。

3 つの柱に取り組む。A S E A N の次の 20 年。P O S T 2 0 1 5 年の A S E A N 。一貫性ある共同体に。いずれ A S E A N はサプライチェーンの中心になるべき。平等な経済開発を推進しなければならない。A S E A N 6 億人の生活向上。平均化しただけでは良くならない。貧困削減、質の高い教育。その為により広い Stake Holder との関係。持続可能な経済発展。人を大切にする。

A S E A N 見直すべきかもしれない。今は貿易中心。中所得層が増え、若者増える。消費新しいものに既存の統合のパターンは informal。今後は更にちがうパターンでも。

A S E A N にはダイナミックなチャンスがある。チャンスをつかむことができるかどうかは、平和と安定にかかっている。南シナ海、国際法の解決、サポート必要。よりシームレスに統合された共同体は平和と安定の上にある。

(対談)

日 ; タイで軍事クーデター。

シン ; 平和と安定なければ統合できない。タイでは政治の危機が半年続いている。# 2 4 A S E A N 首脳会議でタイの危機について話し合い。正常化されるのを願う。

(会場)

Q1 ; これからの A S E A N 各国の連携大事。歴史認識についての解決する方法は？

A1 ; A S E A N 元々 5 つの国でスタート。今ほぼ全て、東ティモールも。何が特徴かという多様性、団結政治体制も違う。歴史的背景が違っても一つになれる。

Q2 ; 近年のもの。欧米主導。TPP など。RCEP は欧米なしできた。アメリカは今後どうする？

A2 ; A S E A Nの経済統合、様々なものに。RCEP6 カ国が加わる。2 0 1 7 年締結されれば人口の半分 GDP の 1/3 に。A S E A Nは相互に関与する。大国の関与によってもプラスである A S E A Nがイニシアティブを保つ。中心性を保つことが大切であるが。

1 4 . パネルディスカッション

○丸川知雄

○チャロンポップ・スサンカーン

○張 うん嶺

○浦田秀次郎

浦 ; 中国 成長率 7.7 %、今年は 7.5 % 2014 年 ? 7.4 %。 2020 年代 ~ 30 年代 アメリカを抜く。中国経済は、東アジアに大きな影響。

①中国経済 現状について

②中国経済 15 ~ 20 年先の見通し

③中国経済 アジア諸国との関係

金融危機 中国政府はかつてない金融緩和で乗り切る。しかし、その後減速。労働力不足、シャドウバンキング、過剰設備投資と課題。

張 ; 政府の target 7.5 % 四半期の発表 7.4 % 景気減速は今年で終わる。政府が支援策、インフラ灌漑 etc. 民間部門に開放、民間の資金が投入される。資本の流入、今後も続くとする。高成長率から 7 % 台の時代に入る。2 0 2 0 年くらいまで。過剰設備が積みあがっている。これまでの中国輸出拡大、労働集約型中心、アセンブリラインが多い。

いつまでも高い投資の分野に頼り続けるわけにいかない。高成長時代のようにいかない。過去の投資のように中国に流入するわけにならない。インドなどにいく。ダーティーなものよりクリーンな経済への圧力。より成長率低い方が好ましい。Local な incentive 投資に向かう。中央政府の control を超える。

2 0 0 0 の汚染された工場閉鎖するが、民間が資本を入れてしまう。地方の政府において。地域格差もある。来年、成長率下がると心配していない。Restruction の最中にある。

丸川 ; 住宅バブルがはじけつつある所。1 0 0 都市のうち 4 5 都市で値下がり。(民間の調査) 毎日のように中国誌、ついに来たかと言う記事。日本のようなバブル崩壊にはならない。住宅、投資目的で持てなくなる。労働力人口 ▲ 0.3 %/年 ゆるやか

チャン ; タイで今起こっていること考えると中国に注目難しい(笑) が、I C O R が上がっている → 投資の効率が下がる。タイの '97 の危機と似ている。シャドウバンキングも大きい。外貨もたくさん持っている。所得格差。1 9 8 0 年 上海・北京 1 7 6.5 %だが、今は、ほぼ同じになった。経済成長の安定、配分も考える。

浦 ; シャドウバンキングについては？

張 ; マイクロファイナンスが十分発達していない。地方自治体 時にはシャドウバンキングと共同で。地方自治体の借り入れ。膨大になっている。シャドウファイナンス 政府なくしてしまわずにむしろ規制の下に sp ン属させる。

丸川 ; ごちゃ混ぜになっている。一番悪いやみ金融。投資信託 非常に多い。まだ破綻例がない。

張 ; 規制されていないやみ市場。コストそのものを下げる。C P P のメンバーの友人、政府のメンバー。

浦；IMFの予測 ～2019年 5.9%、2019年～ 3.5% 2020年代～30年代
アメリカを抜くといわれる。生産性の向上 etc. 課題について

丸；私の予測もっと高い。2011年～20年 7.7% 2021年～30年 7.1%。資本をまだ伸ばせる。（貯蓄率高い）という反論ある。投資過剰。私は投資に無駄が多いとみる。投資の余地があるが無駄多いとみる。世界一の特許申請 Alibaba, Huawei など民間でイノベティブな会社もある。農村の労働力枯渇したといわれるが、農村調査すると中高年余ってる。

中国石化 SINOPEC、中国石油 CNPC, GITIC などが混合所有制。90年代に小型の国有会社を民営化した時、改制と呼んだ。グレーな方法。

張；中国のGDPとサイズが米国を抜くのは間違いない。アメリカ2.5%～3%、中国は6%。中国は発展途上国で、イノベーションも。消費も増える。アメリカを超える超えないは、中国にとってどちらでもよい。中所得のワナが克服できるかどうか。グリーンでグリーンな、格差のない経済に向かうのか。北京の空気の悪さ。ほとんどの製造業を一つの国で飲み込んでしまった。

チャラン；過去を振り返ると、次の予想がはずれる。

新興市場で1.88% 20年の危機の後。

浦；経済危機の回避が非常に重要ということ。

浦；アジアにも中国にも経済成長ができる方策は？

チャラン；ASEANの最も重要な貿易は中国。

例えば、アップルが端末を作るとき、すべてを調達できるのは中国だけ。

AECを超えていかなければならない。EU型を目指す。EUは金融危機が起きてEU型は違うとなる。リーマンショックが起きた時、インドネシアは大きな影響を受けた。通貨をひとつにまとめると、柔軟に対応できない。環境基準はEUモデルで。

ASEANにとっては、中国の企業がどこに行くかが重要。20年後どんな機器を作っているか。

領土問題、緊張関係も影響する。

浦；RCEPなどの研究を張さんはされているが？

張；中国はリードコントラクターになっている。しかし、将来は、中国の経済成長は鈍化する。産業を労働力の安いところに移していく。どこに市場が生まれるか。これから5年は回復していき、少しずつ需要は伸びる。地域の統合は進める。

CJAK, RCEP協定を結んでいく。市場を開放、開発指向でないといけない。経済回廊を提案しているが、援助しないといけない。バングラデシュ、ミャンマー

中国は今年、APECをホストする。アジアは移転に好ましい環境を作っていく。

丸；中国、欧米や日本などの工場を奪った。しかし、中国の製品の価格下がるが、原料価格は上がる。中国も投資する国になる。

中国はサービスセクターを多くして経済統合を進める。Asian Infrastructure Investment Bank や BRICS Development Bank なども出てきている。

（会場）

Q1;中国の国営企業はどうなるか？過剰な信用がある。混合所有制で解消できるとは思えないが？

Q2;タイ、韓国はGDPの43%が外国から借用してきて通貨危機となった。中国は違うと思うがどうアセスするか？

Q3;高齢化社会に対しての対応は？

A1～A3（張氏）；

国営企業は市場に押し上げていく。民間に入ってきてもらう。非国営銀行を創始して管理していく。リスクもベネフィットもある。国営企業のフォーメーションを変える。第一四半期は政府の政策にもよってサービス部門の成長が大きい。サービス部門に投資してもらい、サービス部門に将来を支えてもらう。

労働供給の点では、労賃の上昇がある。高齢化が豊かになる前に起こることが問題。高齢化の産業が今後増える。

A（丸山）；シャドウバンキング。混合所有制に期待できないということだが、改革が打ち出されるとき、着地点は見えていないのがこれまで。混合所有制も同じであり、これから進んでいくと思う。

Q4;タイの政情不安定。外国の投資家にとっては？

Q5;張先生、所得の格差があると言われた。どうやって解決する？

A（チャラン）；洪水があり、外資が影響を受けた。しかし、会社は撤退していない。ASEAN では、どこに工場があってもよい。ラオスやミャンマーに。タイは自動車セクターが優位。最終製品と部品の両方。輸出ができる点が優位。電子セクターも流動性がある。他にいくかもしれない。人は違った見方をするかもしれないが、去年、観光は 25%伸びた。中国からの客。

A（張）；企業に所得が偏っていた。人よりも。36%だった。2025 年までに 50%に戻る。所得の格差、地域格差、脆弱な住民、それぞれに別の政策が必要となる。